

D-1トレンチでの追加調査(概要)



9/16より岩盤までの掘削を開始

D-1トレンチ



項目		調査目的	調査位置・概要		2025年度		2026年度		2027年度
					上期	下期	上期	下期	
1	K断層の分布と性状	K断層の岩盤及び深部での分布や性状を確認し、その特徴を詳細に把握します。	(1)	K断層が屈曲している箇所における岩盤までの掘削や、D-1トレンチの地下深部までのボーリング調査を行います。		ボーリング調査、掘削等調査			
2	K断層の活動性	K断層の活動年代を特定するための地質データを更に拡充します。	(2)	- D-1トレンチの北西法面のボーリング等による地質の詳細調査を行います。 - ふげん道路ピットの上載層から採取したブロックの内部構造をCTで確認します。		ボーリング等調査			
3	K断層の連続性	K断層の連続性の有無を、従来のボーリングデータによる評価に加え、岩盤面において直接確認します。	(3-1)	ふげん道路ピットを岩盤まで掘削し、K断層が南方に連続していないことを直接確認します。	9/16着手	掘削等調査			
			(3-2)	ふげん道路ピットから敦賀発電所2号機原子炉建屋側への延長部において、調査坑によるK断層の追跡調査を行います。		調査坑による追跡調査			
4	その他の破碎帯等	K断層が重要施設の直下まで連続していないことを確認するとともに、敷地全体の破碎帯等の地質データを取得します。	(4)	原子炉建屋周辺の地質、破碎帯の性状、原子炉建屋直下の破碎帯の活動性、その他の破碎帯の分布、活動性等について、ボーリング調査、調査坑による調査を行います。		ボーリング調査、調査坑による調査等			

再申請に向けて更に必要な調査等を進める

※調査期間には手続き等の準備期間を含みます。

なお、これまでのK断層に係る審査での指摘を踏まえ、従前の評価を補強するためのデータ等についても、再申請に向けて取得します。